



カンボジア 魅力発掘の旅



旅行日程：2018.03.06~03.14

海外旅行実施報告書

観光学部観光ビジネス学科
2年 土門美久
17131057



1日目～2日目 札幌→香港→プノンペン



03.06	12:00	新千歳空港 集合
	16:00	[CTS] 新千歳空港発 キャセイパシフィック航空 CX 581便
	~	
	20:55	[HKG] 香港国際空港 到着

5
時間
55
分

滞在時間：12時間10分

03.07	09:05	[HKG] 香港国際空港 発 キャセイパシフィック航空 CX 5208便 (※運航：キャセイド ラゴン航空)
	~	
	10:45	[PHN] プノンペン国際空港 着

2
時間
40
分

香港国際空港での乗り換え
を含めて20時間45分

香港国際空港で空港泊。
空港内には有料のラウンジを使用しなくても横
になって休める無料のスペースがあり、そこで一
夜を過ごした。椅子の数に限りはあったが、夜間
は薄暗く静かで、とても見晴らしも良く飛行機を
間近で見られる。ネットではベンチに横になって
仮眠をとる方法が紹介されていたが、ハブ空港な
ので空港内は明るく静かとはいづらい。

場所はターミナル1レベル5のゲート26付近。
空港案内図や看板が出ている。

ただ個別のスペースではない
ので貴重品の管理はロッカーを
利用することをお勧めする。

その他、無料Wi-Fi・
飲料水・充電が完備



カンボジア入国

税関申告書とビザ申請用紙は香港からカンボジアに向かう機内で配られた。（ビザ申請には顔写真1枚と30USドルが必要）

入国カードはイミグレーションカウンター前で歩いている職員の方に貰った。入国審査は両手10本の指紋採取が必要らしいが、1週間のサイトシーイングだからか顔写真を撮られただけで不自由なく入国。

職員は英語よりクメール語を話していた印象が強く、ビザ取得や入国審査の際も、何か質問されたりすることはなかった。

税関申告も簡易的で、申告のない人は申告書をボックスに入れて終了。



03.07

12:00頃

プノンペン国際空港付近のカフェで一息



タクシーでゲストハウスまで移動（1人7.5ドルくらい）

ホテルの名前と住所を書いたメモを用意していたが、正解だった。



セントラルマーケット



ナーウィングゲストハウスまでタクシーで30分ほど。

ゲストハウスから徒歩20分ほど。

ゲストハウスに着いてからの動き



03.07

12:00頃

ゲストハウスに
着いてからの動き

(ソリヤはクメール
語で太陽)

プノンペン国際空港付近の
カフェで一息
↓
タクシーでゲストハウスまで
移動 (二人で15ドルくらい)
↓
ナーウィングゲストハウス
↓
セントラルマーケット
↓
ソリヤショッピングモールで
ご飯
↓
リバーサイドを散策
↓
ブルーパンプキン
↓
公園
↓
ゲストハウス

プノンペン中心街のゲストハ
ウスまでタクシーで30分ほど。
ホテルの名前と住所を書いたメモを用意してい
たが、正解だった



宿泊した部屋のベランダからの景色



ナーウィングゲスト ハウス

3/7~3/10の3泊4日
ツインルーム60USドル(日本
円で6,638円)



ヌードルとライス
全体的に甘め

3日目 プノンペン2

03.08 10:00頃



トゥクトゥクで金色の寺院
↓
トンレサップ川にかかる橋を
渡る
↓
トゥクトゥクに乗ったまま船
でメコン川を渡りコーダッチ
島へ
↓
シルクを作っているところを
見学



シルクアイランド

↓



金色の寺院

カンボジアに来て最初に訪れた寺院。装飾がとても細かく煌びやか。壁画や屋根にはブッタの一生を描いているようだった。



手織り機で複雑な模様も作っていた。写真の機織りしているのは男性。カンボジアの美が編み出される瞬間を間近で見ることができた。また家族で営んでいる所に訪れたので、カンボジア人の生活を垣間見るいい体験だった。

蚕からシルクが出来る細かな過程が見られる。

ほかにプールや動物園のようなものも併設されており、テーマパークのように賑やかな雰囲気。

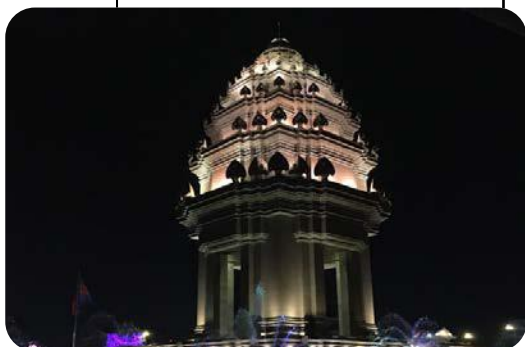


03.08



一旦ホテルへ

昼とは別のトゥ
クトゥクで移動



市内で最も古い
寺院の一つ。
本堂→

ワットプノン



王宮



ラ・ボルト・ドウ・カンボジ



冷麺を食べに韓国料理店へ



帰りに独立記念塔を見る



↑カンボジア人の信仰深さを垣間見る。
ワットプノンはこういった参拝者以外
にも市民の憩いの場として親しまれて
いるようだった。

石けんや雑貨の
売っているお店。
日本人の従業員さ
んがおり、カンボ
ジアに詳しい。



4 日目 プノンペン 3

03.09 10:00

に昨夜乗せて
もらったトゥ
クトゥクの
ドライバーと
待ち合わせ



KOH PICH

Town hall

チャイナタウン



地元の公園 川を埋め立
てて作っている。

建物は
カンボジア風

KOH PICHとは地元の遊園
地らしい。これはそこで出
会った地元の男性3人組と
写真撮影したもの



Town hall(city
hall)で記念撮影



カンボジアにも中国や韓国が
土地を買い街を作っている。

プノンペンの郊外に高層マンションや
真新しい中華街が立ち並んでいた。地元
のトゥクトゥクドライバーの話によると、
中国人がマンションを建ててもカンボジ
ア人にはとても高くて住めないようで、
あまり快く思われていないらしい。実際
に建設している現場の人はほぼカンボジ
ア人だ。カンボジア経済の一面や事情を
目の当たりにした。



スーパーカル
マーケット
地元の人がよく
行くという
↓
寺院を2件まわる



豚の丸焼き
中国の旧正月でも食べるように
カンボジア人も食べる



学生の姿もちろほら見えた。



食べ物が色鮮やかでとても見応えがあった。



露店に売っている
パイナップルがとても
美味しかった！

チリという辛しょっぱい
塩をつけて食べる





コーダッチ島
↓
ムスリム
↓
寺院
↓
ご飯
↓

インフォメーションセンター
↓
ナイトマーケット
↓
プノンペンタワー
↓
KOH PICH（遊園地）や
プノンペンの夜をドライブ



コーダッチ島からトンレ
サップ川を挟んだプノン
ペンを見る。



店内の様子
パンやケーキなどがショーケース
に入ってる



牛肉はパイナップルと炒めて
あり甘い味付け。鶏肉はレモ
ングラスと唐辛子で味付けさ
れていて口当たり爽やかだが
とてもからかった。どちらも
ライス付で3.5ドル



いろはすに似た飲料水がでてきた。
そのまま読むとダサニ。
他にもファンタやレッドブルなど日本
でも見慣れた飲料メーカーをみかけた
が、クメール文字のパッケージはデザ
インのようでおしゃれにみえた。

5日目 プノンペン4→シェムリアップ

03.10 12:00

インフォメーションセンター
でお勧めされたマリスという
レストランに行く

↓

昨日行ったローカルマーケッ
トでインタビュー

↓

カンダル

↓

郵便局

↓

ヌードルの店で夕飯

↓

ナイトマーケット

↓

ココナッツジュースで一息

↓

夜行バスに乗ってシェムリ
アップへ

ローカルな場所
を知りたかった
ので「あなたの
好きなお店や場
所はどこです
か？」等を聞いて
まわる。

インタビューした中、英語
が通じないにも関わらず、
お話を聞いてくれたり、情
報収集してくれたり、カン
ボジアの人柄の良さを垣間
見た。



カンボジアならではの
食事の堪能！



6日目

03.11

シェムリアップ

早朝、露店で朝ご飯



戦争博物館



キーリング
フィールド



寺院



トンレサップ湖でサンセット
を見る



アプサラダンスを見ながら夕
食（バイキング形式）



デザートにアイスロールを食
べる



ナイトマーケットでお買い物



アイスロール



英語が話せないと断られたので、詳しくは聞けなかったが、ライスとヌードルが選べるスープ。肉は豚・牛・鳥から選べる。人参や大きめの大根・菜っ葉ものが入っていてほのかに甘い。茶色のキューブ型のはわからなかったがとても柔らかく、たぶん肉の加工した何かだと思う。臭みはなく、早朝にやさしい味だった。個人的にカンボジアで食べたご飯で一番心にしみたご飯だった。

メニューとトッ
ピングの種類が
豊富！
しかもトッピン
グは無料



7日目 シェムリアップ2

03.12 早朝

サンライズ アンコール
ワットを見に行く



↓
アンコール遺跡



アンコールワット散策後の
露店ご飯
奥は鶏肉とバゲット
手前はシーフードヌードル
(スープなしなので焼き
そばのようだった)

ココナッツ
シェイク
日中は気温が
30℃を上回
るので水分補
給が大事だ。
この日は遺跡
を歩き回った
うえ非常に暑
かったので



冷たいもの
ばかり食べ
ていた。

